

第2回カーボンニュートラルやまがたアクションプラン 改定検討ワーキングチーム「意見票」

議題1 カーボンニュートラルやまがたアクションプラン改定の方向性について

- 第1回のワーキングチーム（WT）後、県内の若者の意見として「やまカボ・サポーター」（資料1）及び「カーボンニュートラル大使」（資料2）より意見聴取しました。第1回WTにおける御意見に加え、これら若者の意見を踏まえ、資料3のとおり対応方針をまとめました。
- これに県の庁内関係部局からのヒアリング結果を加味し、プラン改定の方向性を、現行プランの章立てをベースに資料4のとおりまとめております（なお、改定の考え方等については、資料3のほか3ページの補足事項を御確認ください）。
- 特に今回の改定では、第1回WTにおける御意見を踏まえ、県民に取り組んでいただきたい4～5の「キーアクション」を厳選し定めたいと考えております。
(キーアクションは、県民・事業者共通で取り組めるアクションを想定)
- つきましては、主に下記視点から、改定の方向性についての御意見を賜りたいと存じます。
 - ・ 各御意見への対応が適切か、それが方向性に反映されているか
 - ・ キーアクションの候補について
 - ・ 他に追加すべき、注目すべき（あるいは削除すべき）アクションがないか

【ご意見】

※必要に応じて、欄を拡張願います。

① プラン改定の方向性について

② キーアクションの候補について

※ 現行プランや追加アクション案
(資料4の2ページ目等) を参考に、
厳選するアクションの候補について
3~5程度挙げてください。(必須)

3 カーボンニュートラルやまがた「●つのキーアクション」 NEW

- 【キーアクションの内容案】
- 特に取り組んでほしい(取り組みやすい)4~5のアクションを厳選
(県民・事業者県民・事業者共通で取り組めるアクションを想定)
- <厳選するアクションの候補(順不同)>
- ・ エコドライブの実践、エコカーの導入
 - ・ CO₂排出量、エネルギー使用量の見える化
 - ・ 再エネ設備導入、再エネ電力切替
 - ・ 地域資源(無毒物・木材・食品)の活用
- ② アクション候補
- ① 県民に親しみのある自然環境等のキーワードを用いて、覚えやすいフレーズに
例は、「もがみがや」 「がっさん」「ゅひょう」
「やおかた」等4~5文字を頭文字としたフレーズ
- ③ アイデア

③ キーアクションのキーワードやフレーズのアイデアについて

※ 覚えやすいフレーズなど、アイデアがあればご意見ください。(任意)

議題2 その他（自由意見）

○ プラン改定の方向性に限らず、カーボンニュートラルに向けた取組みに関して
御意見がありましたら御記入ください。

【ご意見】

※必要に応じて、欄を拡張願います。

【補足事項】

○ 県民運動構成団体における特徴的な取組みのコラム掲載について

(資料4の1枚目右側「主な改定事項(共通)」の3点目)

- 参考資料「団体・企業等におけるカーボンニュートラルに向けた独自の取組み事例」について、本WT書面開催と並行して県民運動構成団体へ照会しておりますので、御承知おきください。

○ 新アクション「まずはCO₂排出量の「見える化」から」について

(資料4の2枚目「家庭でのアクション」>徹底した省エネの推進>(4)行動での省エネ)

- 今年度から本県で展開している「デカボ MY スコア」(普段の生活で排出しているCO₂の量を知ることで、地球温暖化の問題を「自分ごと」として捉えてもらい、県民一人ひとりの脱炭素アクションへつなげる取組み)について、各種アクションの入り口として新たにプランに取り込むものです。

- ◆ 脱炭素(デカボ)への個人の貢献度合いをスコア化する「デカボMYスコア」を導入した
「カーボンニュートラルやまがた」サイトを開設



あなたの挙げているCO₂は何トン?
測ってよう!

デカボ MYスコア



- 11問の簡単な質問に答えることで、自分が普段の生活で排出しているCO₂の量を知ることができる。
- 地球温暖化の問題を「自分ごと」として捉えてもらい、県民一人ひとりの脱炭素アクションへつなげる狙い。

- ◆ 地元スポーツチームと連携したデカボMYスコア体験イベントを開催

◎ 8月16日 モンテディオ山形



◎ 10月26日 パスラボ山形ワイヴァンズ



選手の排出量スコアと一致した方に、ピタリ賞として選手サイン入りグッズをプレゼント

○ 新項目「市町村における地域脱炭素の取組み」について

(資料4の2枚目「公共分野でのアクション」)

- 県内市町村において、環境省「脱炭素先行地域」「重点対策加速化事業」等を活用し、地域の脱炭素化に取り組む自治体の例が増え始めてきたことから、県民・事業者へこうした自治体の事業の活用や施策展開への協力を促すとともに、他の自治体への横展開を促すことを新たにプランに取り込むものです。

- ◆ 2050年カーボンニュートラルの実現に向け、先進的・効果的な脱炭素施策に取り組む市町村や県内企業と連携しながら県内各地へ波及させ、県内における脱炭素ドミノを展開するための、足掛かりとなる「やまがた脱炭素ドミノ推進勉強会」を、県民運動推進会議の下に新たに設置



- 先進的・効果的な脱炭素施策を推進する自治体や民間企業の取組内容について紹介するとともに、他の市町村や各団体等と意見交換・情報交換を行う勉強会を開催

- 県内外を問わず、先進的・効果的な脱炭素施策に取り組む自治体や企業を講師として招聘し、取組内容やノウハウを紹介
- 参加者とのフリーディスカッションなども実施しながら、各団体が抱える課題解決につなげる
- 座学形式の勉強会のほか、県内先進地視察等も実施

⇒ 勉強会に参加する市町村や各種団体は自らの取組みへ還元

⇒ 脱炭素のキープレーヤーとなる地域新電力等のエネルギー関連企業も参画することで、脱炭素に取り組む市町村や企業のつながりを生み出し、新たな共同事業構築の足掛かりを創出
(地域間連携・部門間連携の促進)

⇒ 山形県を牽引する優良事例を増やし、地域への更なる波及につなげていく

